

2007年度中間決算説明会
～参考資料～



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2007年11月

【地域経済の現状】

・経済状況	2
・業況判断D.I.推移	3
・地価動向	4
・設備投資の状況	5
・住宅投資の状況	6
・企業倒産の状況	7
・その他経済指標(1)	8
・その他経済指標(2)	9
・プライムエリア(北陸・北海道)の特徴	10
・地域のプロジェクト ～北陸・北海道新幹線～	11

【経営指標等】

・地域シェア～貸出金残高(07/3末)～	13
・地域シェア～預金残高(07/3末)～	14
・地域向け貸出金(北陸銀行)	15
・地域向け貸出金(北海道銀行)	16
・地域の業種別貸出金(07/9末)	17
・地域の預金(両行)	18
・金融再生法開示債権(2行合算+分割子会社)	19
・金融再生法開示債権(北陸銀行+分割子会社)	20
・金融再生法開示債権(北海道銀行)	21
・保全状況の推移	22
・個人向けローン商品等の拡充	23
・ほくほくFG株価の推移	24

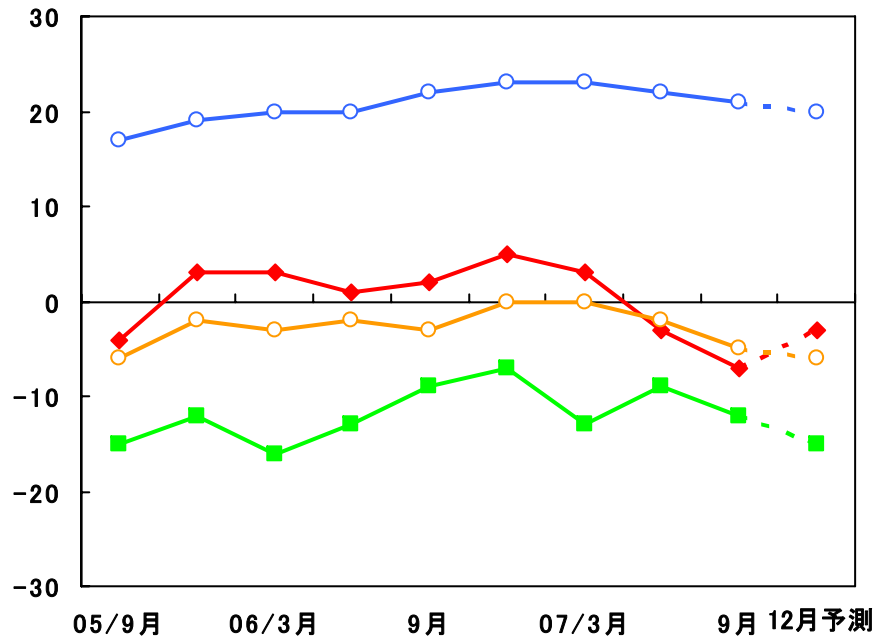
地域経済の現状

	月例経済報告(内閣府)		地域経済報告(日本銀行)			
	全国		北陸		北海道	
	2007/9月		2007/10月		2007/10月	
景気	一部に弱さがみられるが回復		緩やかに回復		横ばい圏内の動き	
公共投資	低調に推移	→	前年を幾分下回る	↘	減少傾向	↘
設備投資	増加	↗	高水準の前年を上回る増加	↗	増加	↗
個人消費	持ち直しの動き	↗	持ち直しの動き	↗	横ばい圏内の動き	→
住宅建設	おおむね横ばい	→	前年を2割方下回る	↘	弱めの動き	↘
生産	横ばい	→	引き続き増加	↗	おおむね横ばい	→
雇用・所得	厳しさ残るも着実に改善	↗	引き続き改善	↗	横ばい圏内で推移	→
物価	横ばい	→	前年を幾分下回る	→	前年をやや上回る	↗
企業倒産	緩やかな増加傾向	↘	件数は前年を幾分上回るが、負債総額は下回る	→	件数は前年を幾分上回るが、負債総額は下回る	→

※ 内閣府「月例経済報告」、日本銀行「地域経済報告」より

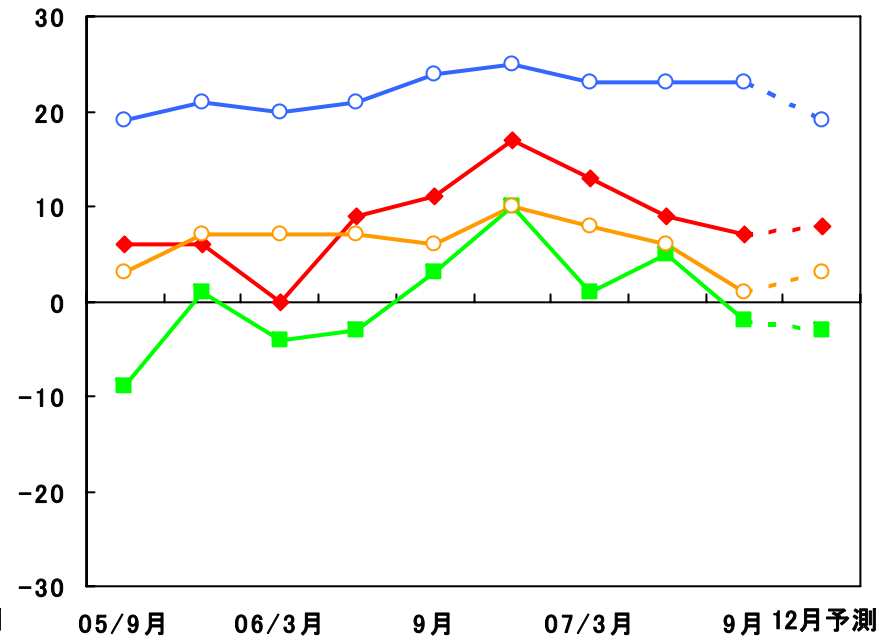
業況判断D. I. 推移

全産業:D.I.地域別推移 (ポイント)



◆ 北陸 ■ 北海道 ○ 全国(大企業) ○ 全国(中小企業)

製造業:D.I.地域別推移 (ポイント)

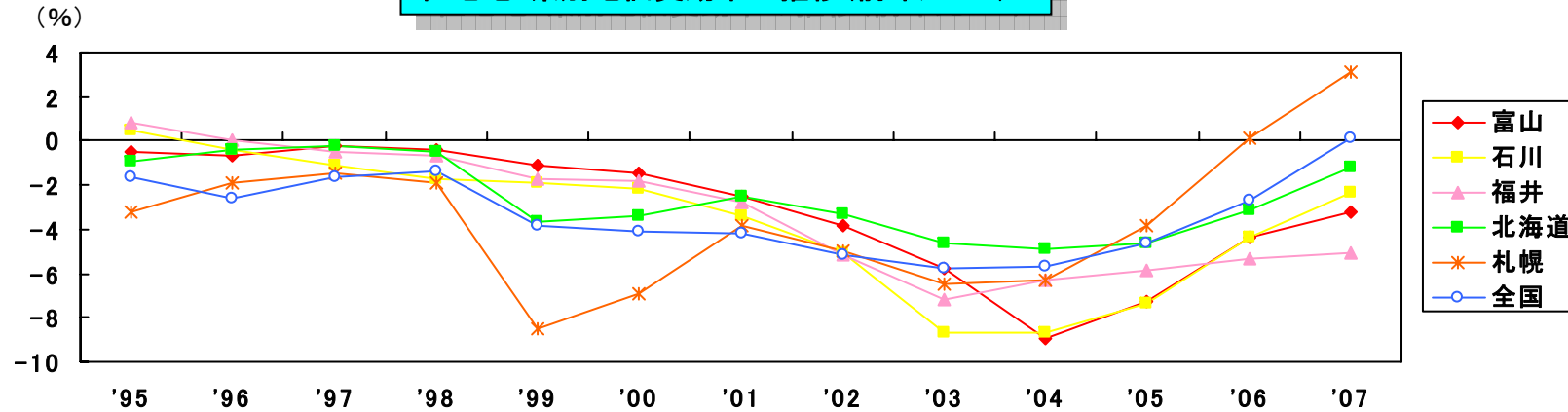


◆ 北陸 ■ 北海道 ○ 全国(大企業) ○ 全国(中小企業)

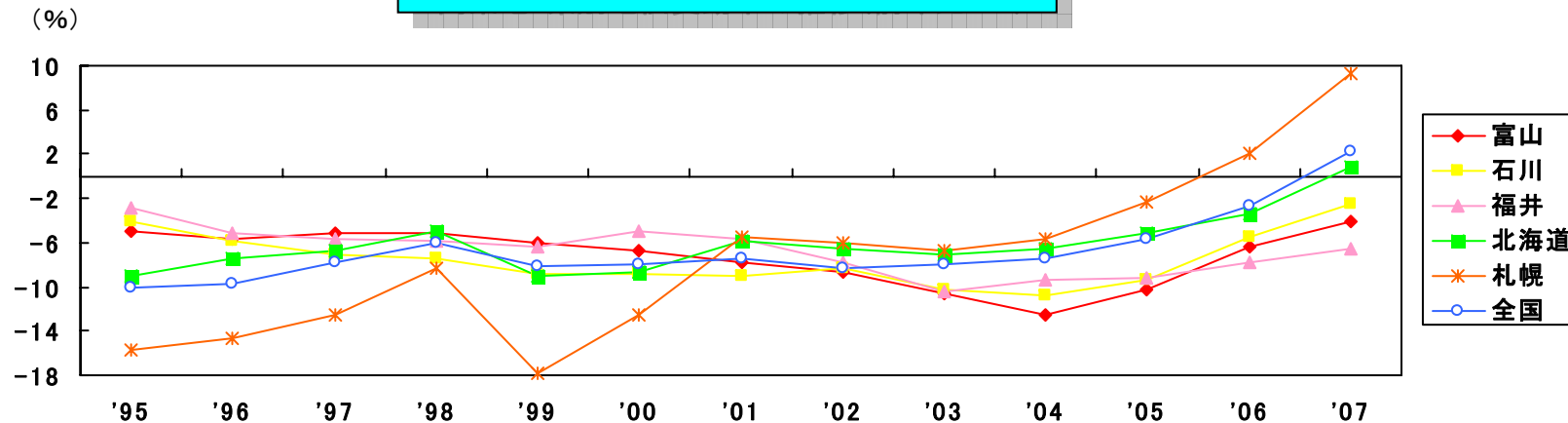
- 北陸 : 全産業で7期ぶりのマイナス。製造業は全国(中小企業)を上回る水準。
- 北海道 : 住宅・不動産関連の悪化が目立ち全産業で低下。

地価動向

住宅地：県別地価変動率の推移（前年比：％）



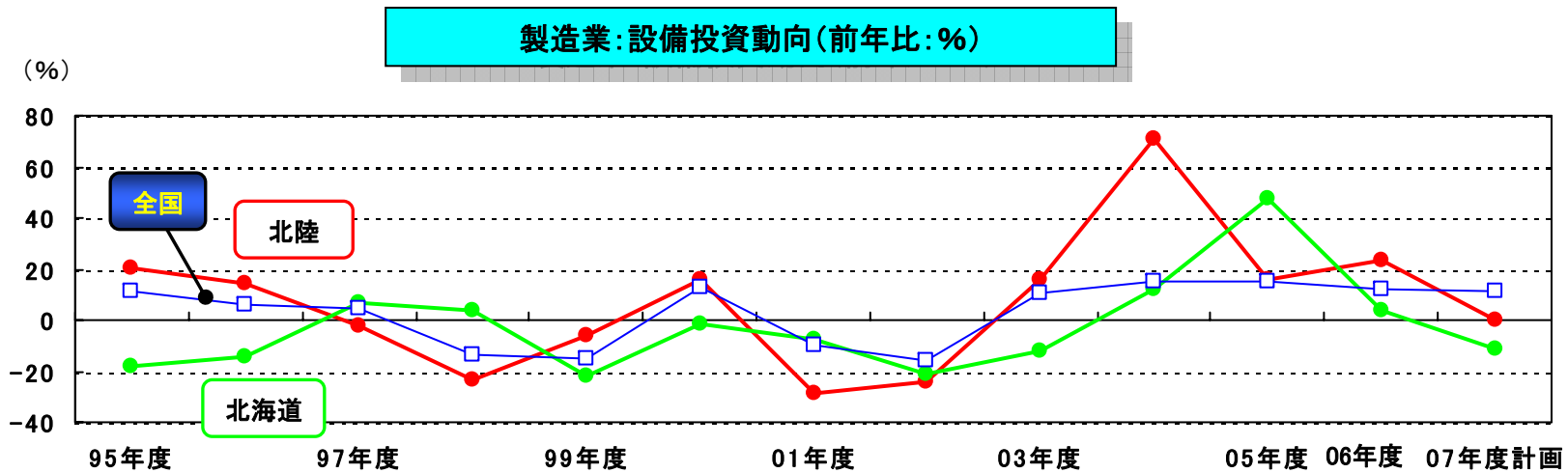
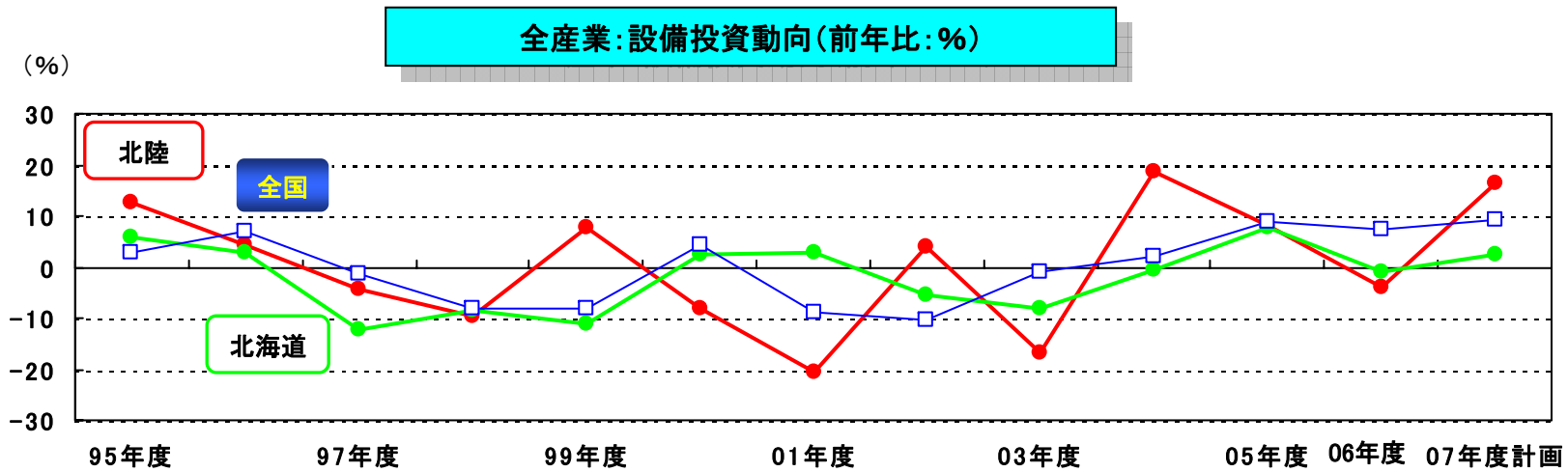
商業地：県別地価変動率の推移（前年比：％）



- 北陸：住宅地、商業地ともに下落が続くもマイナス幅は縮小。
- 北海道：道内の商業地はプラスに転じ、札幌市はマンション・オフィス用地需要の高まりから、2年連続上昇。

※ 国土交通省「地価公示」より

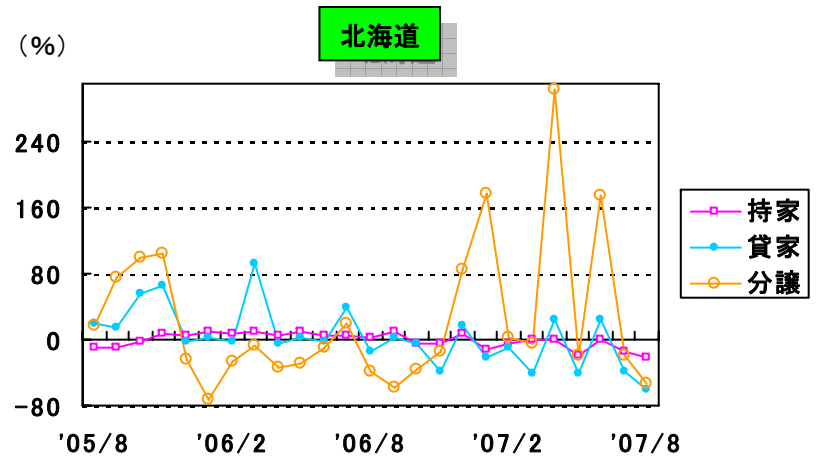
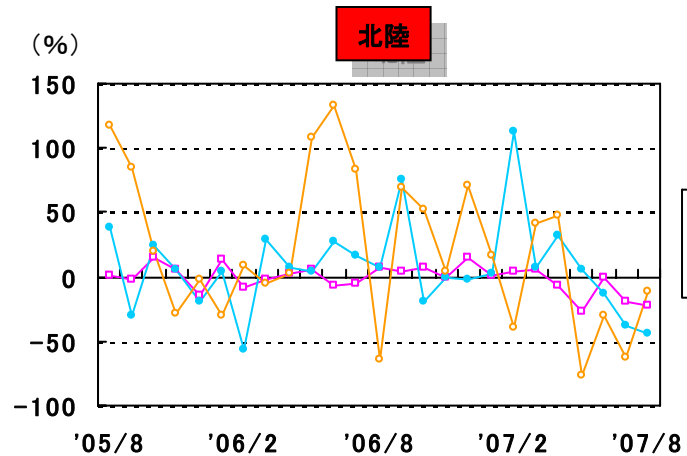
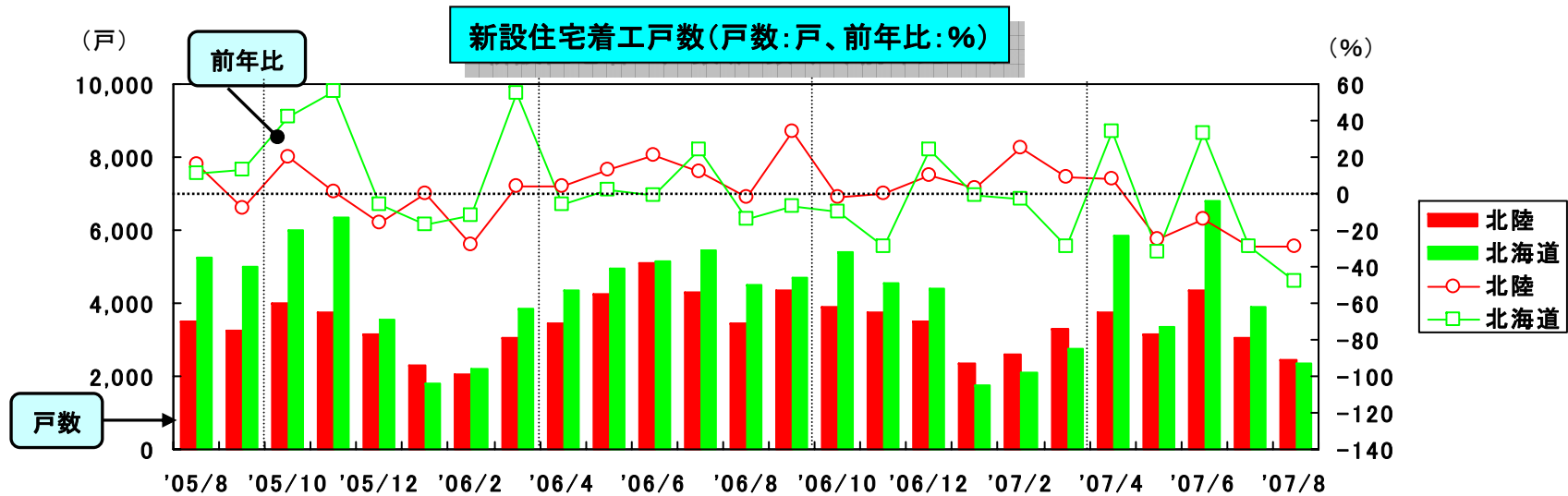
設備投資の状況



▶北陸 :07年度計画は製造業がほぼ横ばい、非製造業が増加に転じ全産業で増加。全国で3番目の増加率。
 ▶北海道 :07年度計画は製造業が減少に転じるものの非製造業が6年ぶりに増加に転じ、全産業で増加。

※ 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」より

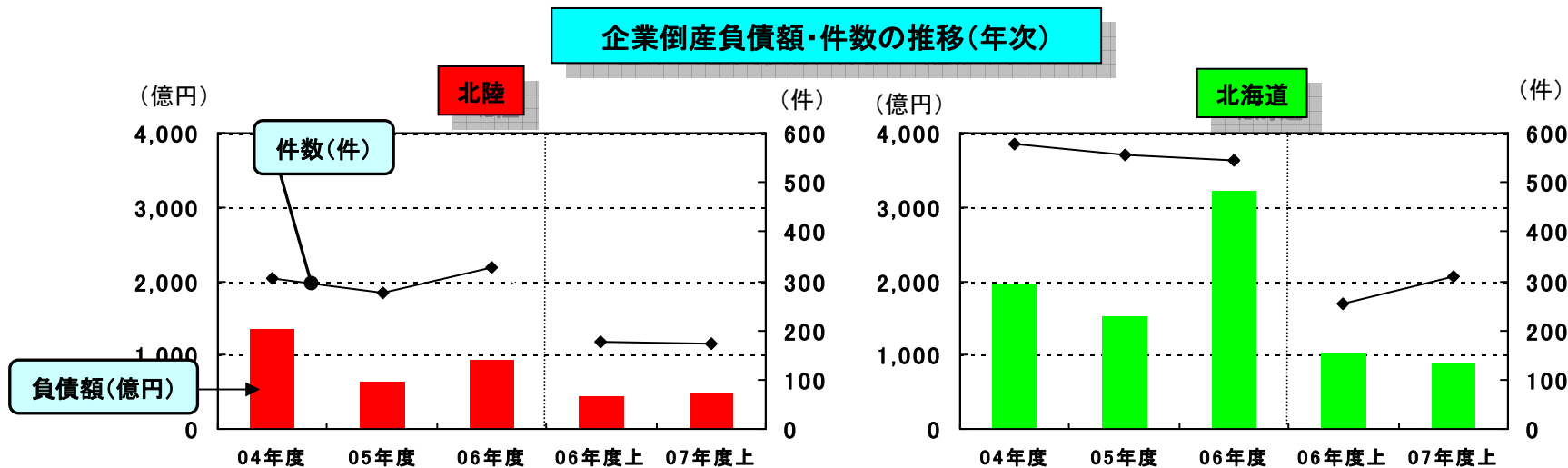
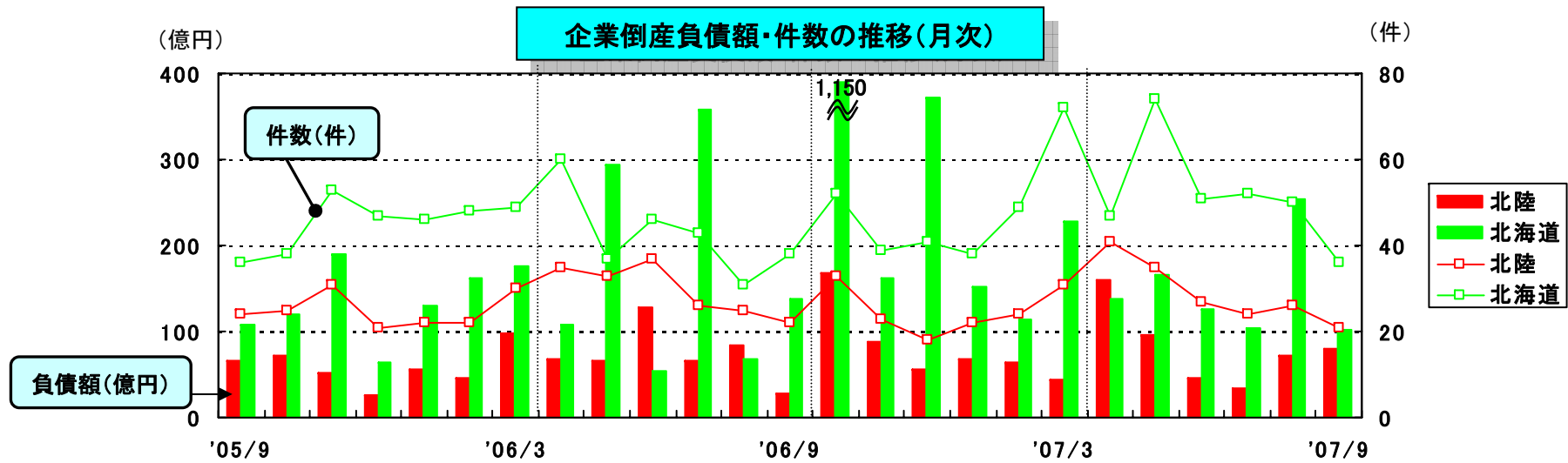
住宅投資の状況



▶北陸 : 07年度上期は持家、貸家、分譲ともに前年を下回る。
 ▶北海道 : 07年度上期は、マンション中心に前年を大きく上回るも、足もと減少。

※ 国土交通省「建築着工統計調査」より

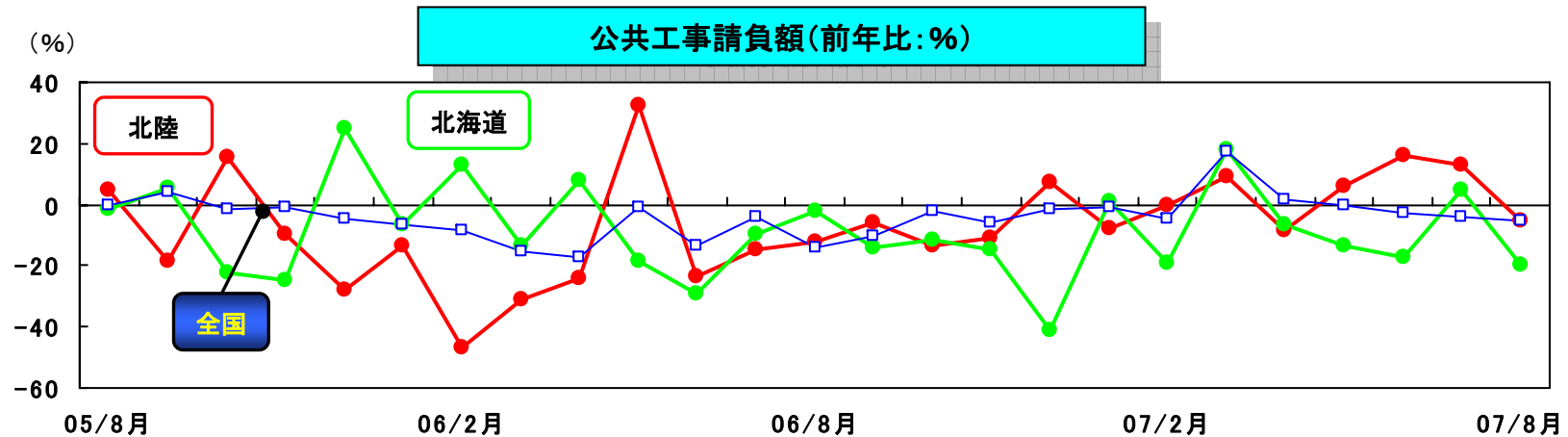
企業倒産の状況



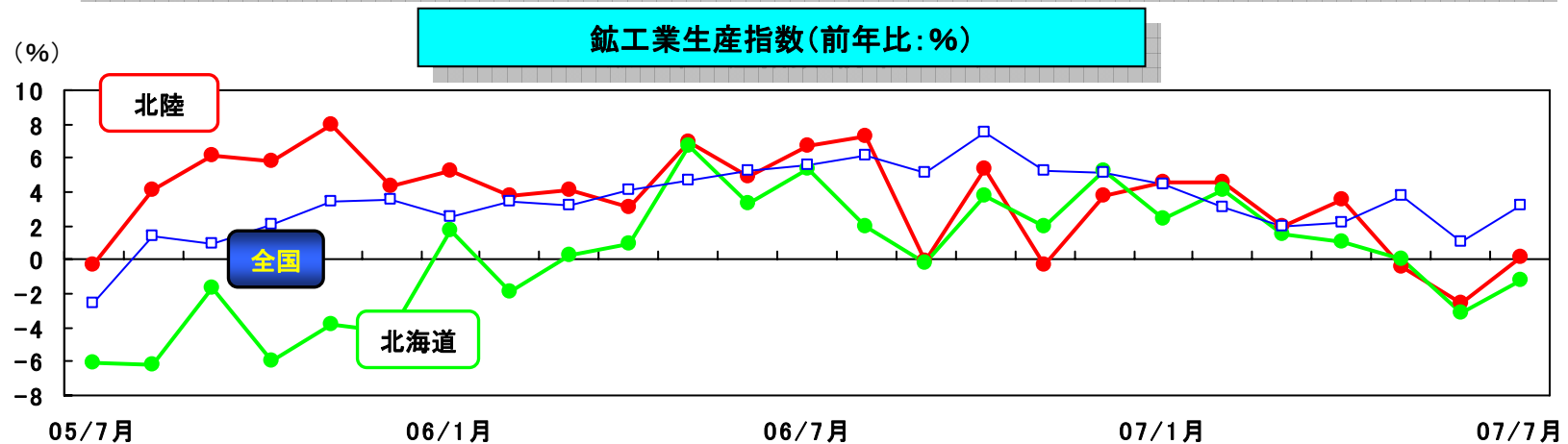
>北陸 :07年度上期は、前年同期より件数は若干減少したが、負債額は増加。
 >北海道 :07年度上期は、前年同期より件数は増加したが、負債総額は減少。

※ 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」より

その他経済指標(1)



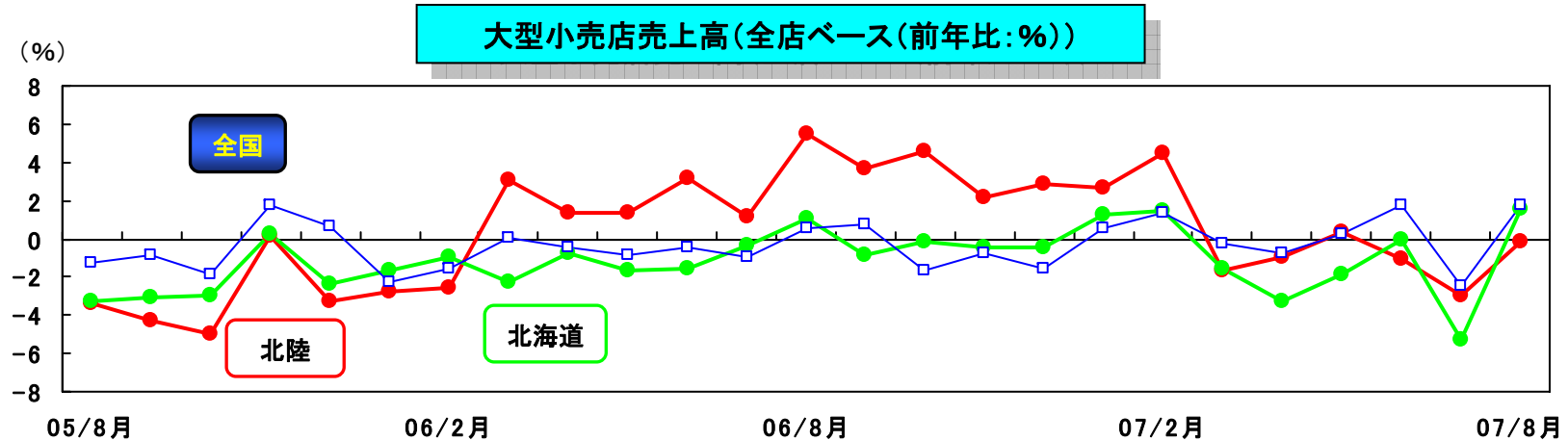
>北陸 : 災害復旧や交通インフラにより、足もと増加しているが、基調としては減少。
 >北海道 : 国・地方公共団体の予算規模縮小を背景に、引き続き減少傾向



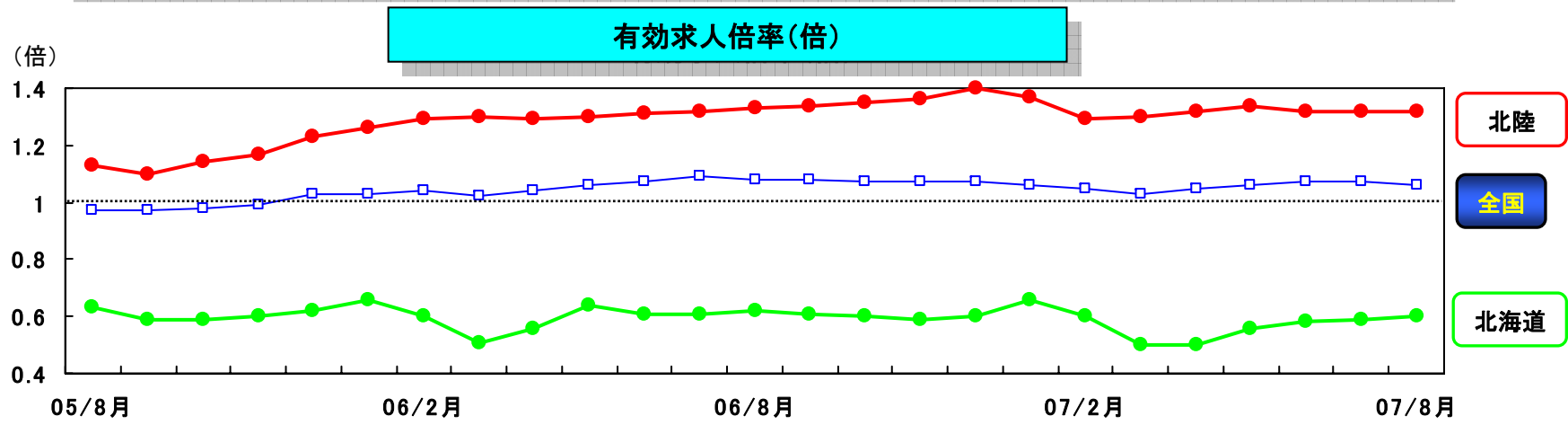
>北陸 : 足もと減少しているが、基調としては増加。
 >北海道 : 緩やかに持ち直していたが、07年下半年以降概ね横ばい。

※ 日本銀行「金融経済月報(北陸)」「金融経済概況(北海道)」より

その他経済指標(2)



>北陸 :能登半島地震の影響から一時的に前年を下回ったが、持ち直しの動き。
 >北海道 :天候不順により前年を下回ったが、全体としては横ばい圏内の動き。



>北陸 :引き続き高水準で推移。
 >北海道 :やや上昇傾向、横ばい圏内で推移。

※ 日本銀行「金融経済月報(北陸)」「金融経済概況(北海道)」より

プライムエリア(北陸・北海道)の特徴

Hokuhoku Financial Group, Inc.

人口・面積

総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2007」(2005年度実績)

	富山	石川	福井	北陸三県計	北海道	プライム エリア
人口 (順位)	111万人 (38位)	117万人 (35位)	82万人 (43位)	310万人	563万人 (7位)	873万人
人口密度(人/km ²) (順位)	261.7 (25位)	280.5 (23位)	196.1 (32位)	—	71.8 (47位)	—
面積(km ²) (順位)	4,247 (33位)	4,185 (35位)	4,189 (34位)	—	83,456 (1位)	—

大阪府・神奈川県に
匹敵！

1位	東京都
2位	大阪府 (882万)
3位	神奈川県 (879万)

県内総生産

内閣府「県民経済計算(2004年度実績)」

総務省統計局「世界の統計2007」(1米ドル当り110.22円、2005年)

(億円)

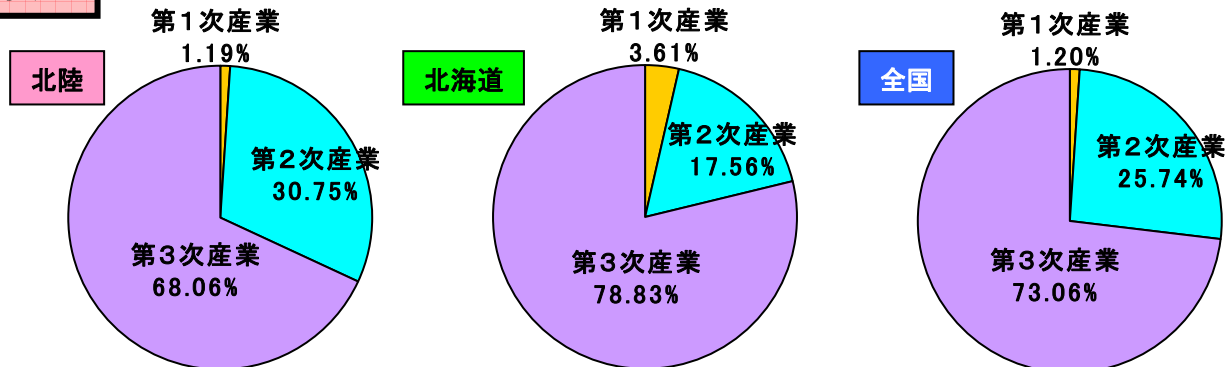
	富山	石川	福井	北陸三県	北海道	プライム エリア
県内総生産 (割合)	46,722 (0.92%)	45,047 (0.89%)	32,643 (0.64%)	124,412 (2.45%)	196,617 (3.87%)	321,030 (6.31%)
(順位)	(28位)	(31位)	(41位)		(6位)	

全国4位の神奈川県
を上回る！

1位	東京都
2位	大阪府
3位	愛知県
4位	神奈川県 (308,144)

産業別構成

内閣府「県民経済計算年報2004年度」



欧州13位のルウエー
に匹敵！！

1位	ドイツ
2位	イギリス
13位	ルウエー (325,714)

地域のプロジェクト

北海道

◎北海道新幹線

- 東北新幹線の新青森駅より函館市・小樽市付近を経由し、札幌市に至る約360kmの路線
- 2015年度までに完成予定(新青森～新函館間)



(洞爺湖)

◎2008年夏:主要国首脳会議(サミット)の洞爺湖開催決定

洞爺湖(とうやこ)・北海道虻田郡洞爺湖町と有珠郡壮瞥町にまたがる湖で、支笏洞爺国立公園に含まれる。カルデラ湖としては支笏湖に次いで3位。

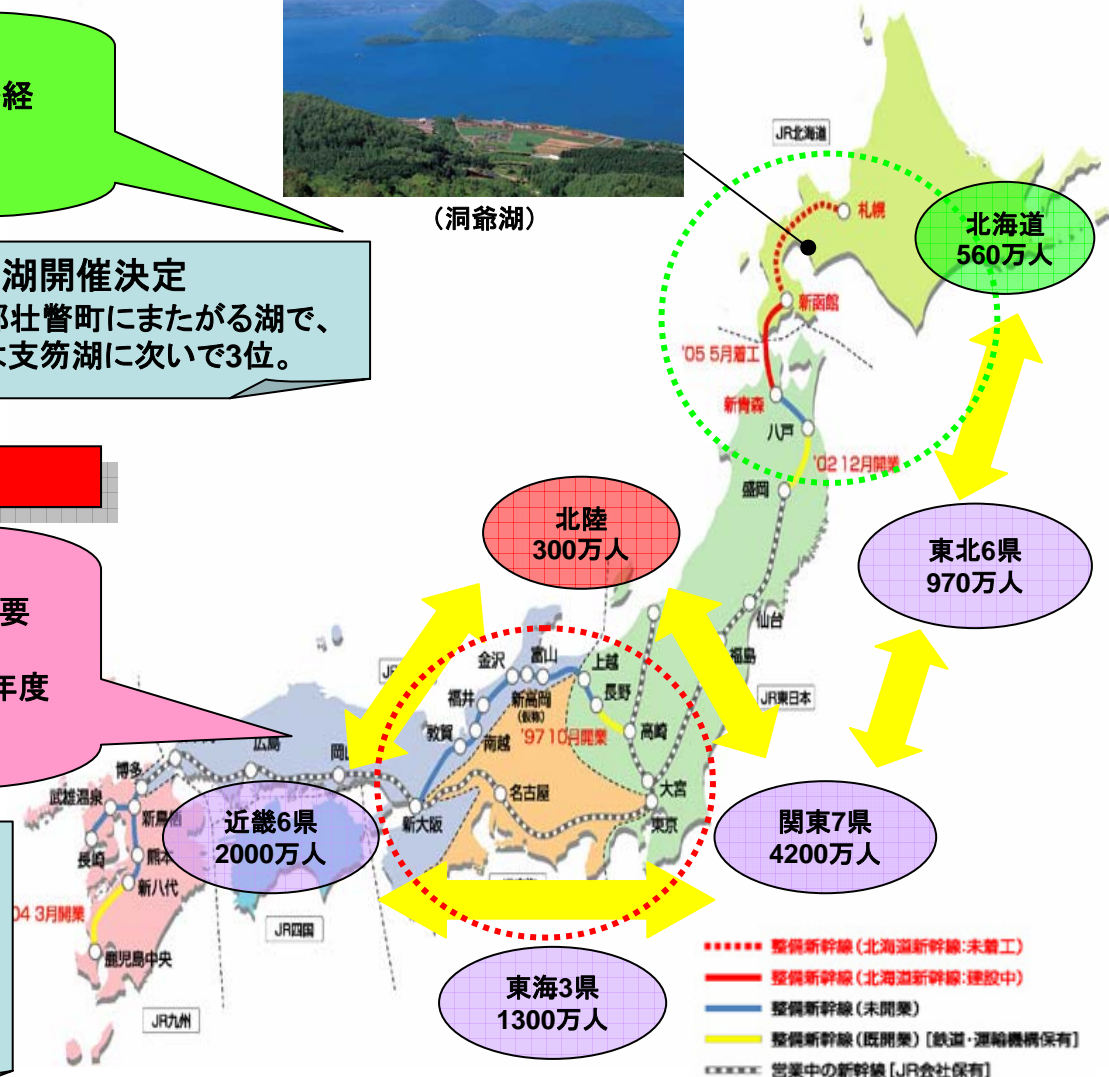
北陸

◎北陸新幹線

- 東京を起点として長野・上越・富山・金沢・福井の主要都市を経由し、大阪に至る約700kmの路線
- 現在既に66%以上の区間が開業又は着工。2014年度までに完成予定

◎東海北陸自動車道

- 愛知県一宮市から岐阜県を経由して富山県小矢部市へ至る。
- 2007年1月:天生峠直下を貫く飛騨トンネル貫通
(日本で2番目に長い道路トンネル)
- 2008年7月:全線開通予定



※ 国土交通省、北海道庁、北陸新幹線建設促進同盟会ホームページより

経営指標等

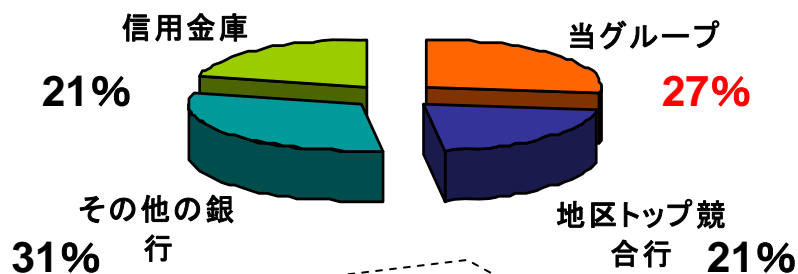
地域シェア～貸出金残高(07年3月末)～

Hokuhoku Financial Group, Inc.

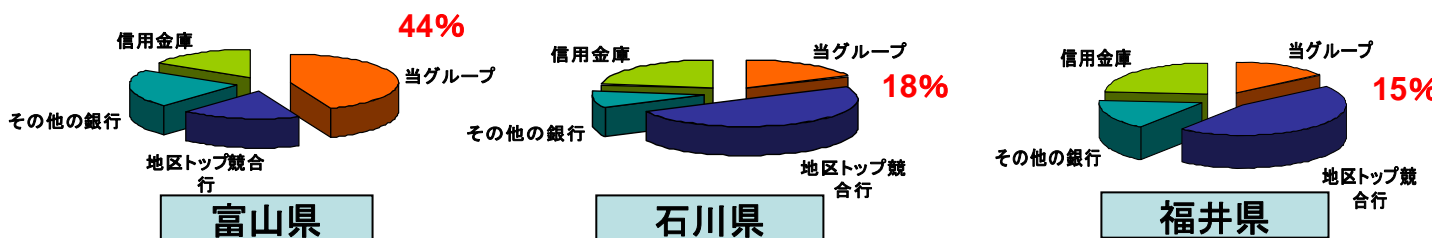
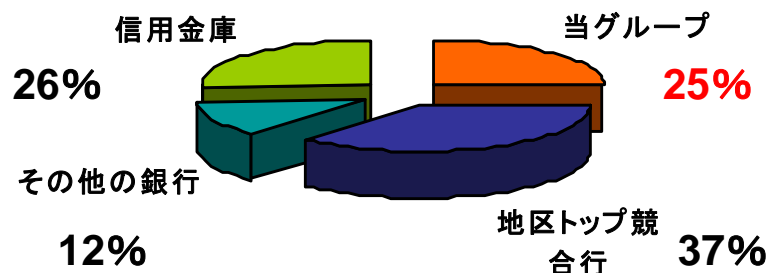
財務省 北陸財務局「北陸地域主要経済指標」

北海道財務局「北海道主要経済指標」より当社にて作成

北陸三県



北海道



※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値

(億円)

	北陸三県				北海道
		富山県	石川県	福井県	
銀行	70,691(79.3%)	27,213(84.3%)	25,787(76.7%)	17,690(76.1%)	88,756(74.1%)
うち当グループ	23,983(26.9%)	14,320(44.4%)	6,068(18.0%)	3,594(15.5%)	30,571(25.5%)
北陸銀行	23,983(26.9%)	14,320(44.4%)	6,068(18.0%)	3,594(15.5%)	5,297(4.4%)
北海道銀行	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	25,274(21.1%)
地区トップ競合行	18,380(20.6%)	5,850(18.1%)	16,274(48.4%)	10,382(44.7%)	44,255(37.0%)
信用金庫	18,435(20.7%)	5,050(15.7%)	7,835(23.3%)	5,549(23.9%)	31,012(25.9%)
合計	89,126(100%)	32,263(100%)	33,622(100%)	23,239(100%)	119,768(100%)

地域シェア～預金残高(07年3月末)～

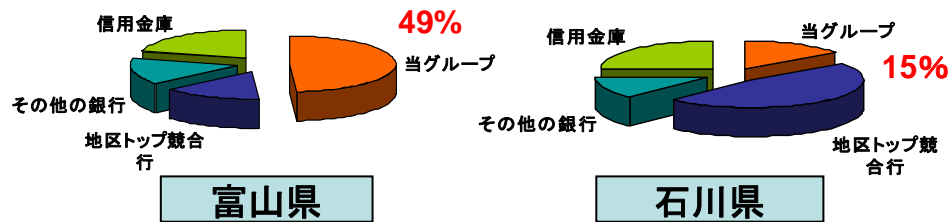
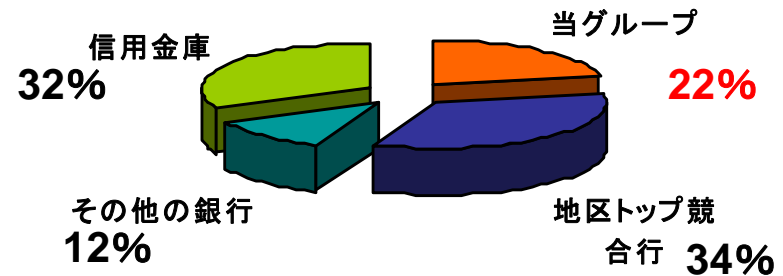
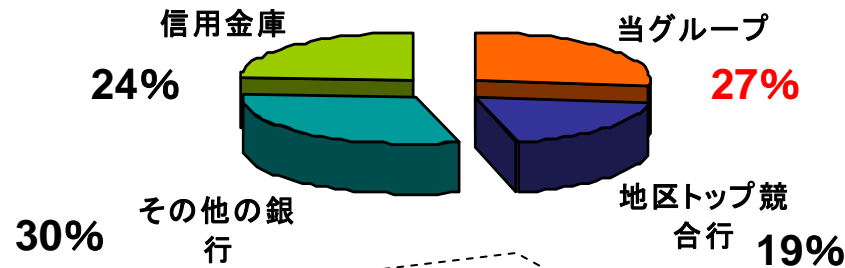
Hokuhoku Financial Group, Inc.

財務省 北陸財務局「北陸地域主要経済指標」

北海道財務局「北海道主要経済指標」より当社にて作成

北陸三県

北海道



※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値

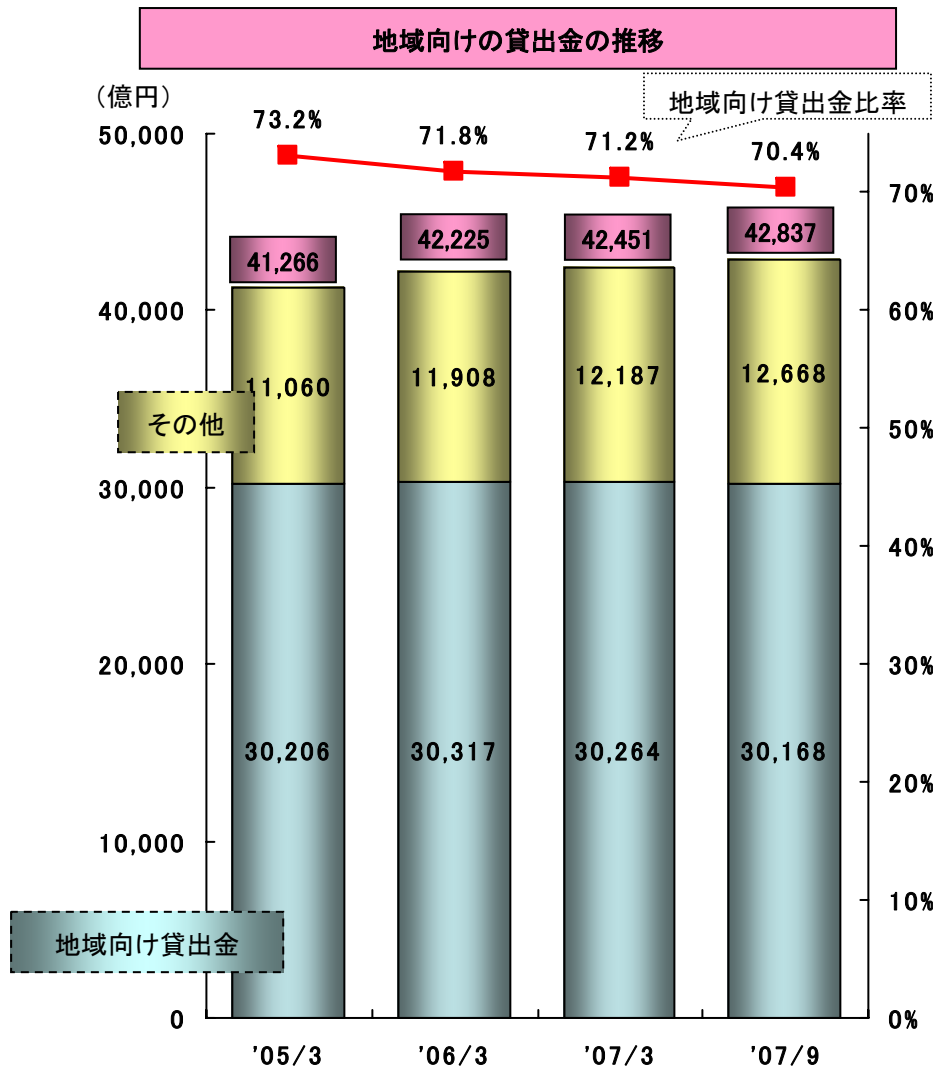
(億円)

	北陸三県				北海道
		富山県	石川県	福井県	
銀行	105,667(75.8%)	40,193(78.7%)	38,941(74.9%)	26,532(72.9%)	125,413 (68.0%)
うち当グループ	37,728(27.1%)	25,000(49.0%)	7,764(14.9%)	4,963(13.6%)	40,250(21.8%)
北陸銀行	37,728(27.1%)	25,000(49.0%)	7,764(14.9%)	4,963(13.6%)	5,288(2.9%)
北海道銀行	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	34,962(18.9%)
地区トップ競合行	26,211(18.8%)	7,730(15.1%)	24,598(47.3%)	16,069(44.2%)	62,496(33.9%)
信用金庫	33,776(24.2%)	10,853(21.3%)	13,065(25.1%)	9,857(27.1%)	59,138(32.0%)
合計	139,443(100%)	51,046(100%)	52,006(100%)	36,389(100%)	184,551(100%)

地域向け貸出金 (北陸銀行)

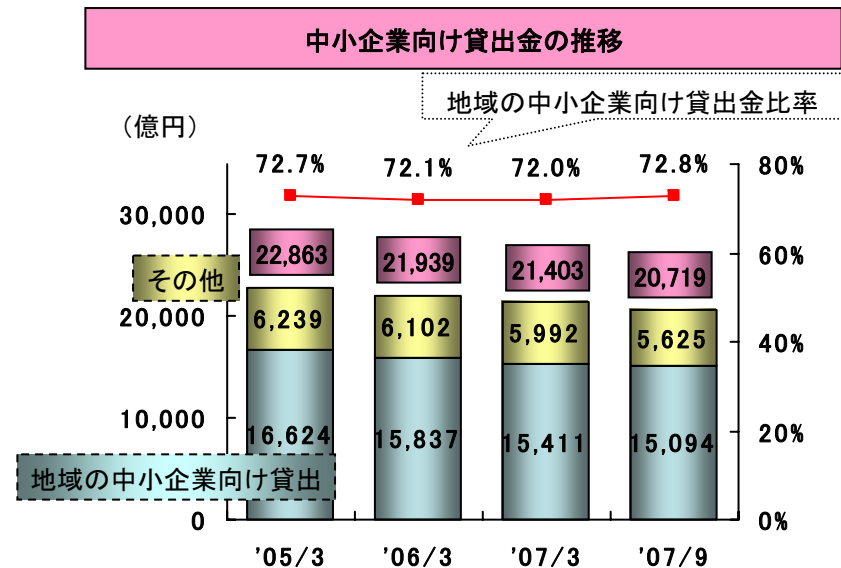
Hokuhoku Financial Group, Inc.

地域向けの貸出金の推移

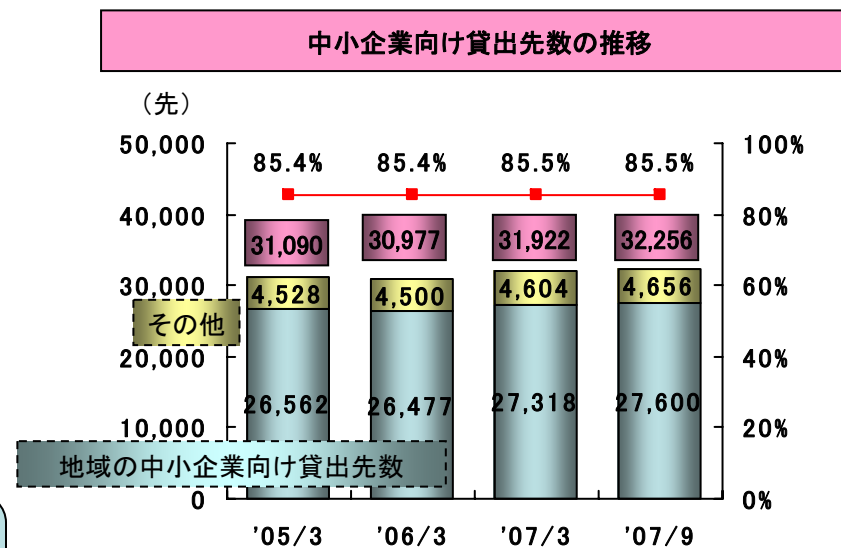


- 総貸出金のうち、地域向けは約70%
- 中小企業向け貸出金のうち、地域向けは約73%
- 中小企業向け貸出先数のうち、地域向けは約85%

中小企業向け貸出金の推移



中小企業向け貸出先数の推移

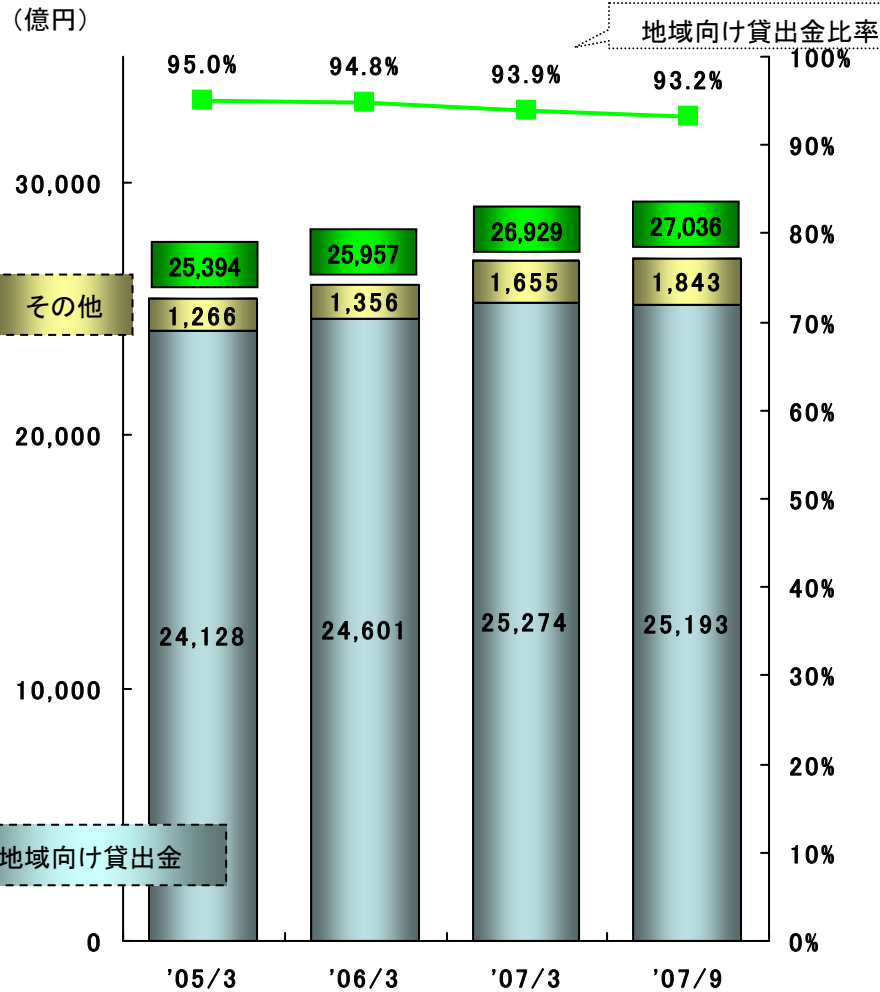


※「地域」とは、富山・石川・福井県、北海道 ※分割子会社分を含む
 ※RMBS控除後、証券化ローンを含む残高で記載

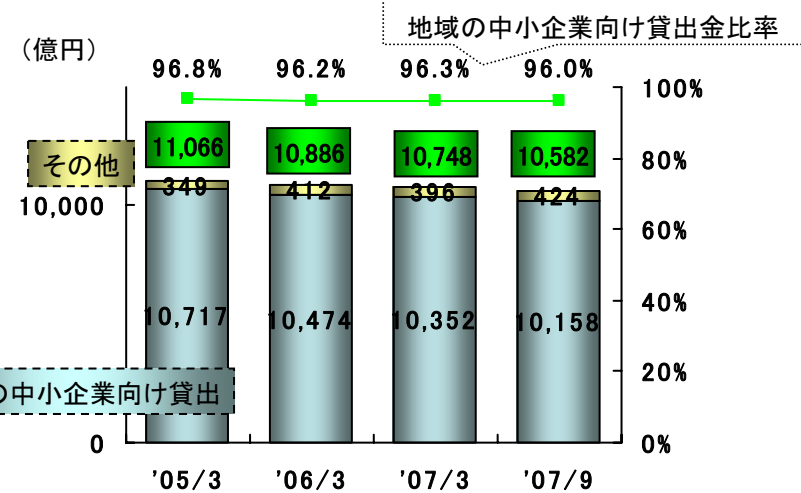
地域向け貸出金 (北海道銀行)

Hokuhoku Financial Group, Inc.

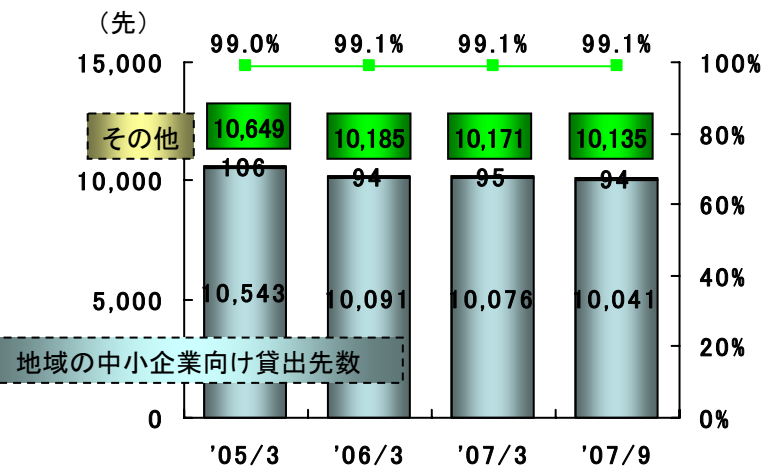
地域向けの貸出金の推移



中小企業向け貸出金の推移



中小企業向け貸出先数の推移



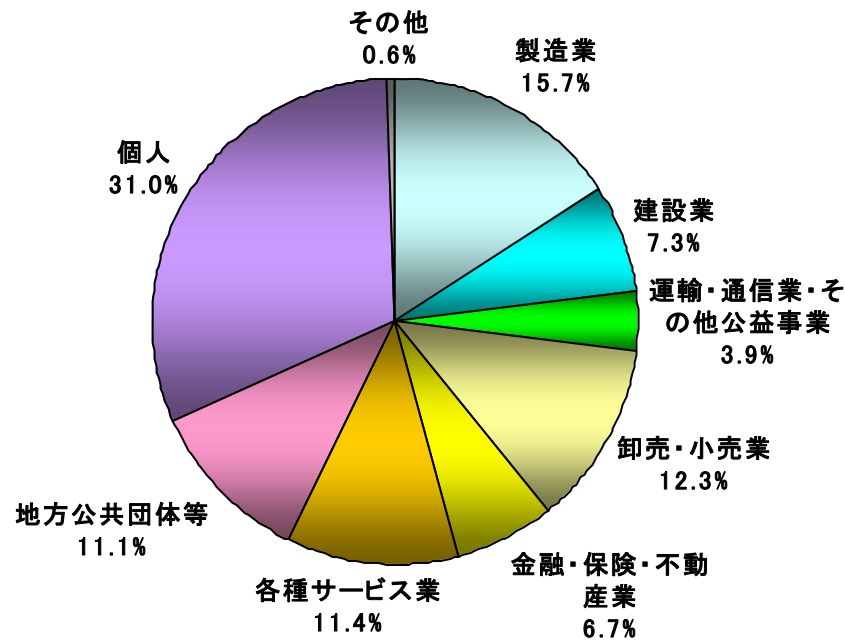
- 総貸出金のうち、地域向けは約93%
- 中小企業向け貸出金のうち、地域向けは約96%
- 中小企業向け貸出先数のうち、地域向けは約99%

※「地域」とは、北海道

地域の業種別貸出金 (07年9月末)

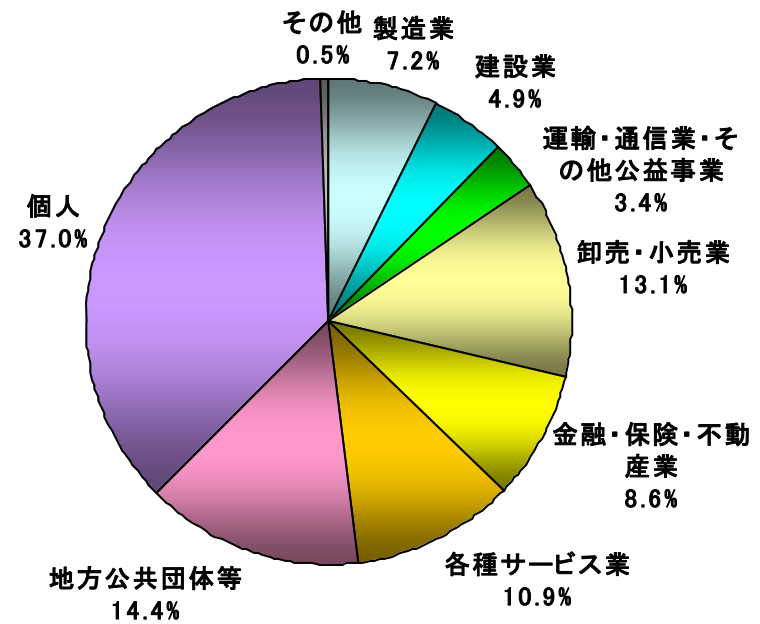
Hokuhoku Financial Group, Inc.

北陸銀行



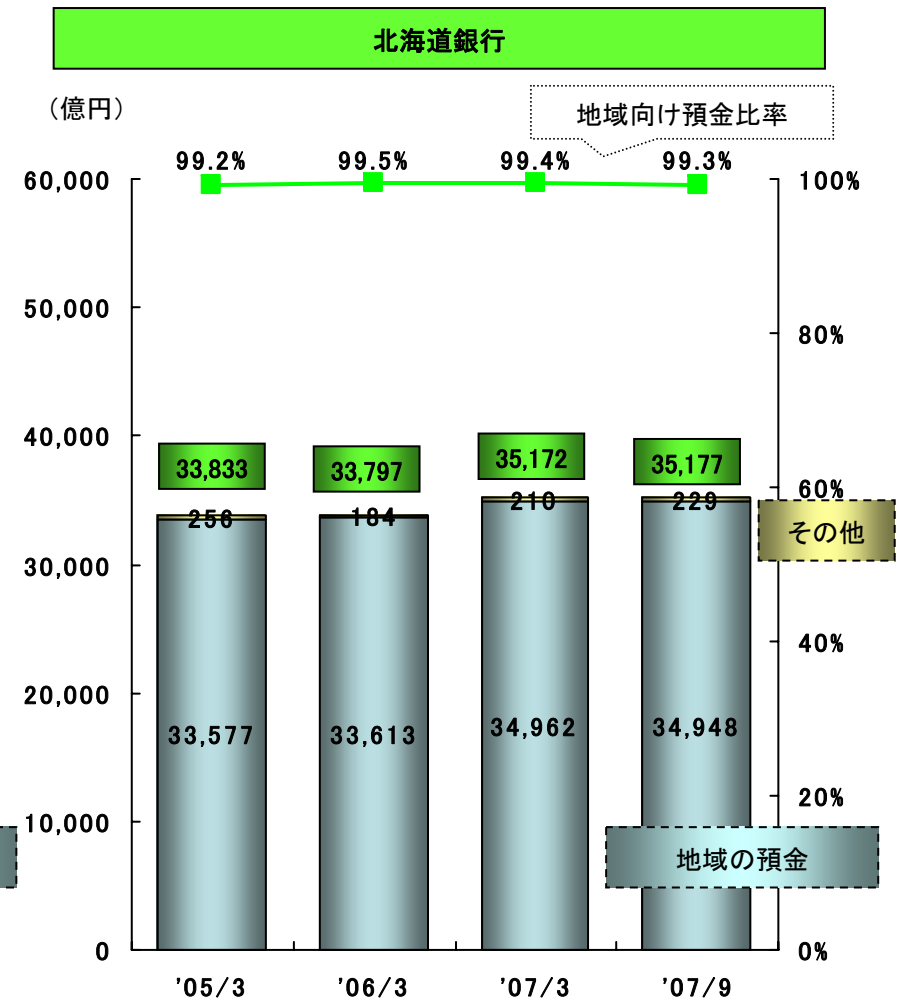
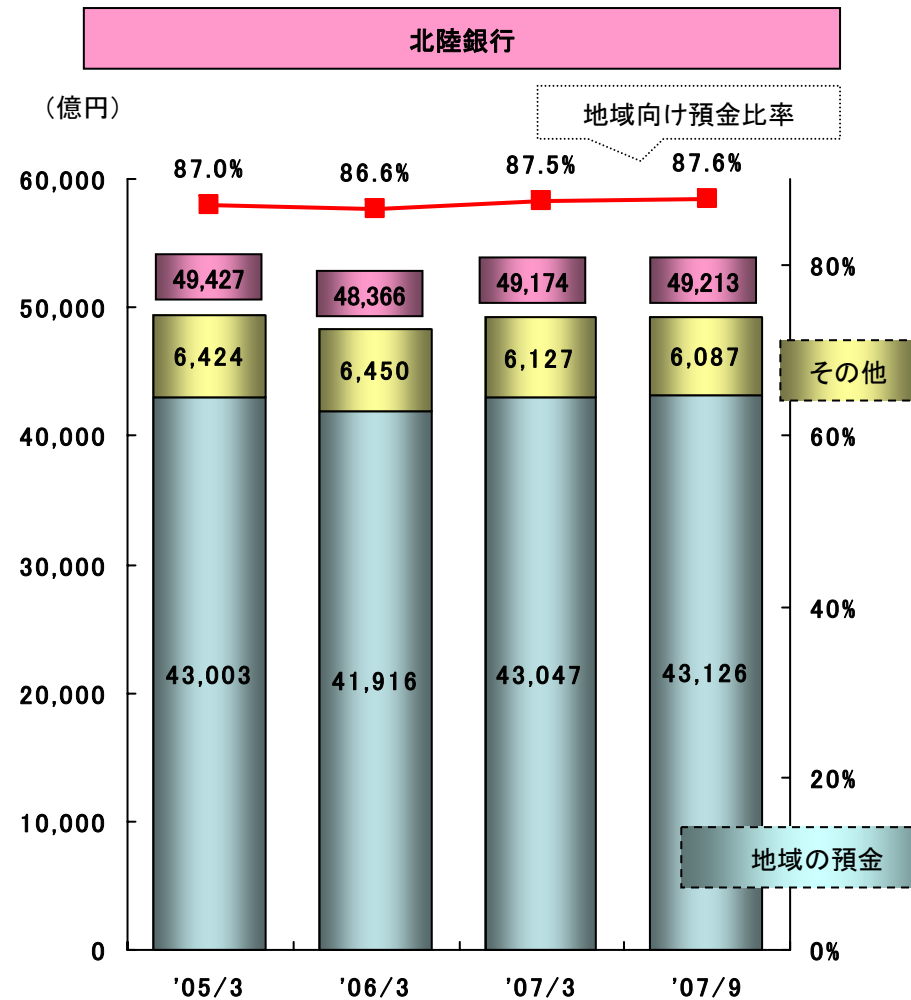
※「地域」とは、富山・石川・福井県、北海道

北海道銀行



※「地域」とは、北海道

地域の預金(両行)



■北陸銀行:地域の預金は総預金の約87%
 ■北海道銀行:地域の預金は総預金の約99%

※北陸銀行:「地域」とは、富山・石川・福井県、北海道

※北海道銀行:「地域」とは、北海道

金融再生法開示債権(2行合算+分割子会社)

引当・保全状況 (部分直接償却後)

自己査定における 債務者区分	開示債権 (A)	分類				担保・保証 (B)	引当金 (C)	引当率 (D)	保全率 (E)
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 175 (189)	破産更生 債権及び これらに準 ずる債権	引当金・担保・ 保証等による 保全部分		全額引当	全額償却・ 引当	450 (495)	93 (88)	100.00% (100.00%)	100.00% (100.00%)
実質破綻先 368 (395)		183 (209)	360 (375)	—	—				
破綻懸念先 1,816 (1,944)	危険債権 1,816 (1,944)	981 (1,021)	561 (600)	272 (322)	—	948 (982)	595 (639)	68.60% (66.49%)	85.00% (83.42%)
要注意先 8,238 (7,731)	要管理 債権 556 (620)	要管理先 150 (137)	要管理先 672 (751)	要管理先 以外	要管理先 以外	要管理 債権 163 (166)	要管理 債権 151 (162)	要管理 債権 38.52% (35.82%)	要管理 債権 56.63% (53.07%)
	要管理先 以外 7,415 (6,842)	正常債権 68,645 (67,919)	要管理先 以外 2,873 (2,868)			要管理先 以外 4,540 (3,972)	328 (332)	186 (197)	37.75% (35.51%)
正常先 60,962 (60,807)		60,962 (60,807)		1 (1)		4,432 (4,393)	111 (74)	3.74% (3.05%)	
合計 71,561 (71,069)	合計 71,561 (71,069)	非分類 65,152 (65,045)	Ⅱ分類 6,134 (5,698)	Ⅲ分類 273 (324)	Ⅳ分類 —				

※ 07/9月末実績。()内は07/3月末の実績。

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

要管理債権以下 82.39% (80.52%)
部分直接償却後
要管理債権以下 88.25% (87.18%)
部分直接償却前

金融再生法開示債権(北陸銀行+分割子会社)

引当・保全状況 (部分直接償却後)

自己査定における 債務者区分	開示債権 (A)	分類				担保・保証 (B)	引当金 (C)	引当率 (D)	保全率 (E)
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 138 (126)	破産更生 債権及び これらに準 ずる債権	引当金・担保・ 保証等による 保全部分		全額引当	全額償却・ 引当	345 (362)	78 (73)	100.00% (100.00%)	100.00% (100.00%)
実質破綻先 285 (309)		146 (140)	276 (295)	—	—				
破綻懸念先 1,047 (1,206)	危険債権 1,047 (1,206)	586 (622)	287 (352)	171 (230)	—	560 (621)	314 (353)	64.65% (60.46%)	83.58% (80.84%)
要管理先 549 (534)	要管理 債権 401 (381)	要管理先 109 (100)	要管理先 439 (433)			要管理 債権 127 (109)	要管理 債権 113 (102)	要管理 債権 41.57% (37.78%)	要管理 債権 60.17% (55.66%)
	要管理先 以外 4,715 (4,636)	要管理先 以外 2,038 (2,019)	要管理先 以外 2,677 (2,616)			(要管理先) 237 (223)	(要管理先) 129 (116)	(要管理先) 41.40% (37.58%)	(要管理先) 66.72% (63.73%)
正常先 37,113 (36,656)	正常債権 41,978 (41,447)	37,113 (36,656)				要管理先 以外 3,281 (3,312)	要管理先 以外 65 (45)	4.59% (3.46%)	
合計 43,849 (43,469)	合計 43,849 (43,469)	非分類 39,994 (39,539)	Ⅱ分類 3,682 (3,698)	Ⅲ分類 171 (230)	Ⅳ分類 —				

※ 07/9月末実績。()内は07/3月末の実績。

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

要管理債権以下
82.28%
(80.22%)

部分直接償却後

要管理債権以下
89.26%
(88.44%)

部分直接償却前

金融再生法開示債権(北海道銀行)

引当・保全状況 (部分直接償却後)

自己査定における 債務者区分	開示債権 (A)	分類				担保・保証 (B)	引当金 (C)	引当率 (D)	保全率 (E)
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 37 (62)	破産更生 債権及び これらに準 ずる債権	引当金・担保・ 保証等による 保全部分		全額引当	全額償却・ 引当	105 (133)	15 (15)	100.00% (100.00%)	100.00% (100.00%)
実質破綻先 83 (86)		37 (69)	83 (79)	—	—				
破綻懸念先 769 (739)	危険債権 769 (739)	394 (399)	273 (248)	100 (91)	—	387 (360)	280 (286)	73.63% (75.81%)	86.92% (87.63%)
要注意先 2,973 (2,560)	要管理 債権 155 (240)	要管理先 41 (37)	要管理先 232 (317)	要管理先 以外		要管理 債権 36 (57)	要管理 債権 37 (59)	要管理 債権 31.51% (32.89%)	要管理 債権 47.46% (48.95%)
	正常債権 26,667 (26,472)	要管理先 以外 835 (848)	要管理先 以外 1,862 (1,355)			91 (108)	57 (80)	31.51% (32.89%)	54.29% (53.46%)
		2,699 (2,206)	1,151 (1,080)			45 (29)	2.95% (2.58%)		
正常先 23,849 (24,150)		23,849 (24,150)							
合計 27,712 (27,600)	合計 27,712 (27,600)	非分類 25,157 (25,505)	Ⅱ分類 2,452 (2,000)	Ⅲ分類 101 (93)	Ⅳ分類 —				

※ 07/9月末実績。()内は07/3月末の実績。

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

要管理債権以下
82.58%
(81.05%)

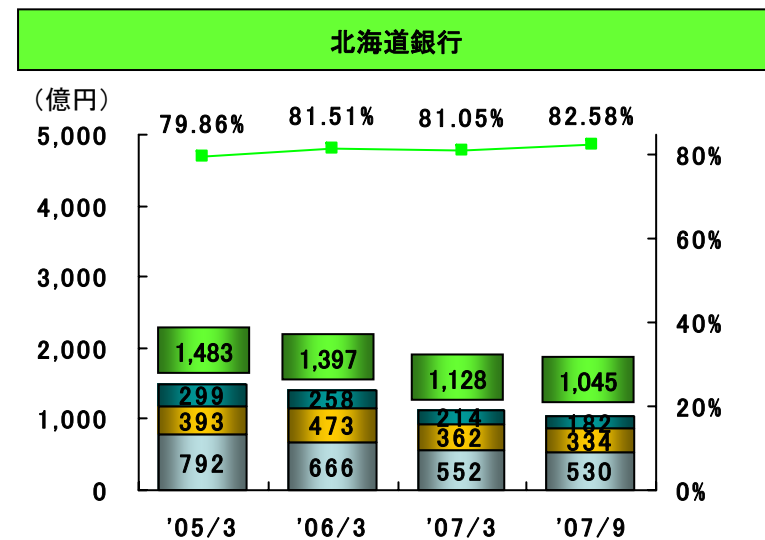
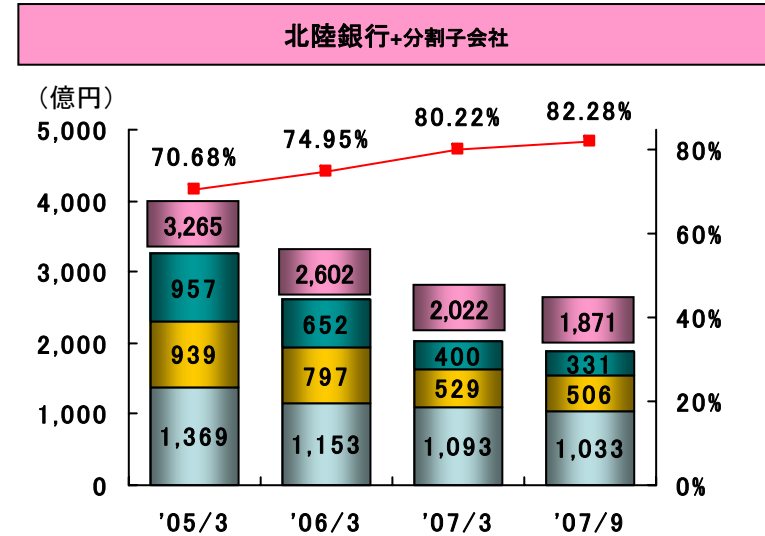
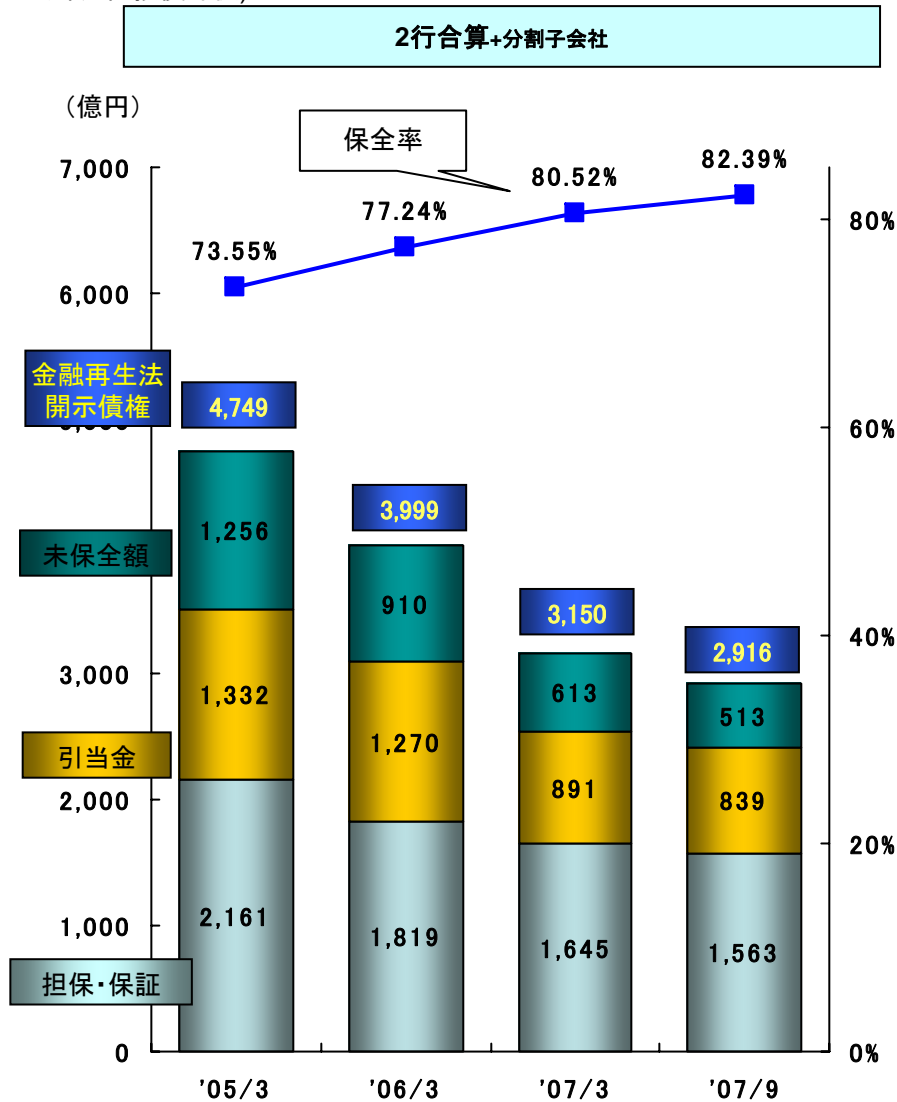
部分直接償却後

要管理債権以下
85.84%
(83.92%)

部分直接償却前

保全状況の推移

(部分直接償却後)



個人向けローン商品等の拡充

Hokuhoku Financial Group, Inc.

ローン相談専門コーナー機能の充実

北陸銀行

「ほくぎんローンプラザ」53ヶ所体制(休日営業27カ所)

北海道銀行

「道銀住宅ローンプラザ」を道内主要都市に12カ所開設(休日営業3カ所)。

商品の拡充

北陸銀行

- ・住宅ローンに「8大疾病保障」「夢ホームワイド」「女性向け」の商品ラインナップ化
- ・主力商品「スーパーNOW」積極推進、ダイレクトチャネル型「クイックマン」の推進

北海道銀行

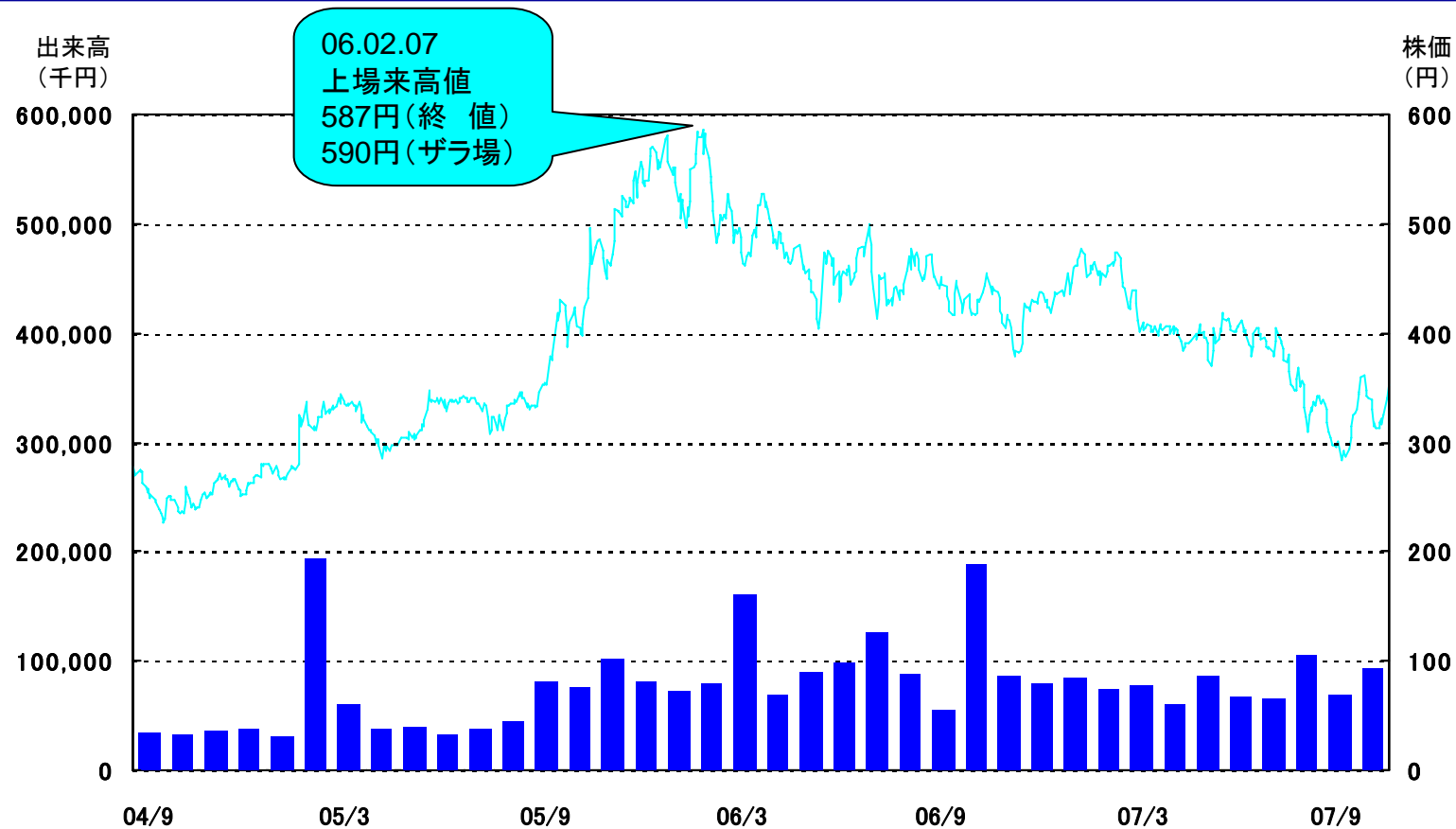
- ・「8大疾病保障」付住宅ローンの取扱
- ・24時間受付、年中無休・非来店型の無担保カードローン「ラピッド」の増強

ハウスメーカーとの連携強化

- ・ハウスメーカー営業担当者との紐帯強化
「ほくぎんドリーム会(4,758名)、「ほくぎんリフォーム倶楽部(237先)」(07/9末)

ほくほくFG株価の推移

Hokuhoku Financial Group, Inc.



	03.09.26	04.03.31	04.09.01	04.09.30	05.03.31	05.09.30	06.03.31	06.09.29	07.3.30	07.9.28
当社株価	177	170	278	230	325	428	517	445	406	325
日経平均	10,318.44	11,715.39	11,127.35	10,823.57	11,668.95	13,574.30	17,059.66	16,127.58	17,287.65	16,785.69
TOPIX	1,021.06	1,179.23	1,135.62	1,102.11	1,182.18	1,412.28	1,728.16	1,610.73	1,713.61	1,616.62

ほくぎんFG
設立

ほくほくFG
経営統合

増資
発表

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:達田)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。